

ブランディングの4つの法則…法則1：独自性の発見と創造

独自性とは「覚悟」です。



イチロー選手が卒業文集に書いたこと

今回の独自性のテーマは「覚悟」です。あなたはシアトル・マリナーズのイチロー選手のことをご存知だと思います。愛工大名電高から91年ドラフト4位でオリックスに入団。様々な大記録を成し遂げた後、2000年にシアトル・マリナーズに移籍。昨年は米通算2000安打をマークし、9年連続200安打の大リーグ記録を1世紀ぶりに塗り替えました。

そのイチロー選手が小学校の卒業文集にこんなことを書いています。“僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。”繰り返しますが、この作文は小学校6年生の時に書いたものです。さらに文章は続きます。

“僕は3歳の時から練習を始めています。3歳から7歳までは半年ぐらいやっていましたが、3年生の時から今までは、365日中360日は厳しい練習をやっています。だから1週間の中でも友達と遊べる時間は5～6時間です。”1日は誰でも24時間しかありません。小学生のイチローは一流のプロ野球選手になるために、友達と遊ぶ時間を捨てると決めたのです。

捨てる「覚悟」が来ていますか？

自分の独自性を活かした商売やビジネスは、言葉で言うのは簡単ですが、実行となると並大抵のことではありません。いままでと同じことを続けていて出来ることはありません。独自性を貫くためには、必要のないことは捨てる「覚悟」が必要です。コップに新しい水を注ぐには、いまある水を捨てなければ入らないのです。

“独自性ってちょっとカッコイし、儲かりそう”という程度の気持ちでは、ちょっとした困難に出会った時に、簡単に気持ちが折れてしまいます。天才といわれるイチロー選手でさえ2009年のWBCでは大不振を経験しています。決勝戦後のインタビューでは“個人的には想像以上の苦しみ、つらさ、痛覚では感じない痛みを経験した”と答えています。



イチロー選手

「覚悟」を本物にするための3つの方法

「夢への覚悟」を決める3つの方法をご紹介します。万人に共通するものでもありませんので、あくまでも一つの参考として考えてください。一つ目は“書き出す”ということです。イチロー選手の文集のように、思いは文字にすることにカタチになります。頭の中で考えている、気持ちでは思っているというレベルだけでは覚悟は決まりません。

二つ目は“宣言をする”ことです。“○○○になるという”宣言により、後には引けないところに自分を追い込むからです。夢への「覚悟」は、自発的なものよりも、そうせざるを得ない環境下に身を置くことによって生まれてきます。不思議なもので、宣言をするとそれを助けてくれる仲間が現れてくるのです。

三つ目は“フリをする”ということ、なりたいたい自分になり切るのです。“○○○だったら、こうするはず”と決めて演じ続けることです。ある意味、一種の開き直りです。習うより、慣れるという言葉がありますが、まさにその通り。次第に演技が本物になっていくのです。結果として、共通の目的を持った仲間も増えていきます。

自分のやりたい道を愚直に突き進む「覚悟」

ブランディングには、人から見たらバカのように思われても、自分のやりたい道を愚直に突き進む「覚悟」がいるのです。でもそれが十字架を背負ったような苦痛と感じないタフな精神もブランディングには必要です。なぜならば、自分にしか出来ない好きなことをやろうとしているのですから……。ジャンルは変わっても好きはパワーの源です。

イチロー選手はこう語っています。“野球は趣味か、仕事かと聞かれれば、僕の場合はバリバリ趣味です。新しいことをどんどん追求していくのが、楽しいからやっている。お金をもらうことが一番目なら、もっと先に進もうとは思わない。”儲かりそうという甘い考えでは、到底たどり着けないのがブランドです。

ちょっときつい言い方もかもしれませんが、自分をブランディングする覚悟がなければ、独自性などは考えない方がいいと思います。ただし同質化競争に渦に巻き込まれて、もみくちゃになるかもしれませんが……。しかし、正直な話、どちらを選んでも大変な時代になったのです。どちらが大変ならば、どうするかはあなた自身が決めるしかありません。